



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2024/3/10 Rd-1 鈴鹿サーキット

天候：晴 気温：11℃ 出走台数：21台

観客数：9日(土)13,000人 10日(日)20,000人 合計33,000人

2024シーズン開幕となる2024 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レースを迎えた鈴鹿サーキットは、昨日に比べ陽射しはあるものの冷たい北風が強くコンディション。にもかかわらず、2万人を超える多くの観客でグランドスタンドも盛り上がる中スタートを迎えた。フロントロウ 2番手の太田選手は蹴り出しこそよかったものの、その後のホイールスピンの多くで7番手まで後退してしまう。一方の牧野選手は2ポジションを上げ6番手で1コーナーへ。2周目に入ったところでS字コーナーで接触コースアウトが発生したため、レースは早々にセーフティカー（以下SC）が導入される。

6周目からレースは再開。スタートの出遅れで牧野選手に先行されていた太田選手が、オーバーテイクシステム（以下OTS）を利用してシケインで接近。チームメイト同士の激しい争いで接触かと思われるシーンもある中、チームはピットストップウィンドウの開いた10周目に牧野選手のタイヤを交換。翌11周目に太田選手がピットイン。

ここからステイアウト組とのギャップを削るべく予選モードで走行を続けるところだが、タイヤ交換後の牧野選手はバランスの不調を訴えペースが安定しない。レースも後半に差し掛かったところで実質の6番手を走行する牧野選手だが、コントロールの難しいマシンに防戦一方。10番手までポジションを落としながらも貴重なポイントを得てレースを終えた。太田選手は4番手走行から3位表彰台を目指す。ラップペースを上げ、OTSを使って攻略するも、3番手山本選手もこれに応戦。わずか0.75秒差の4位で開幕戦を終えた。

5：牧野任祐 選手 10位

スタートも良く前半ペースよく、クリーンエアで走ることが出来ればかなりゲイン出来ると踏んで最小周回数でピットインの判断をしました。アウトラップでスロー走行車に追いついてしまいややタイムロスをしてしまいましたが、何よりタイヤ交換後にマシンのフィーリングが大きく変わってしまい想定していたペースで走ることが出来ませんでした。次戦オートポリスは気温など環境が変わりますが、チームと協力して解決策を見つけ次に繋がるよう準備をします。

6：太田格之進 選手 4位

スタートについてはかなり入念に準備をして臨んだのですがミスもあって大きく順位を下げてしまいました。決勝レースペースはとても良く、予選でも速さがありましたから、シーズン通して考えれば開幕4位は悪くないと気持ちを切り替えて、今回のデータを解析して全体を見直すとともに、スタートの件は特に入念に対策を行ってオートポリスに臨みます。